



「共育」と「協育」と「教育」の連携をめざして

校長 近藤 真人

今年度、家族の皆様、地域の皆様から大きく温かな力で子供たちを支えていただきました。

1年生の「給食支援」、5年生と6年生の「ミシン授業支援」、低学年の「畑の耕し」や全校を対象とした「歌と語りの集い」、「卒業合唱練習」、「登下校の見守り」、「ポンポロン(読み聞かせ)」など。そして、古井・太田・蜂屋・山之上・下米田地区等の主任児童委員さんは、毎月学校を訪問して子供たちの様子を見ていただきました。家族と学校で子供たちを育む「共育」、地域と学校で子供たちを育む「協育」に支えられた1年であったと思います。

また、学校での「教育」では、いくつかの新たな取り組みを実施してきました。「2学期制」の導入、「修学旅行の実施時期と内容の変更」、「あいさくスポーツDayの全校一斉開催」がありました。また、子供たちの頑張りを美濃加茂市の先生方に見てもらおう「F-O公表会」の機会に恵まれました。そして、山手小学校の「創立50周年」の節目でもありました。

こうした取り組みも、学校だけでは実現しません。家族の皆様や地域の皆様のご理解やご協力があればこその実践です。この1年間、山手小学校の教育活動、子供たちの健やかな成長へのご支援、ご協力を賜り本当にありがとうございました。今年度の教育活動を踏まえ、令和7年度も「家庭と地域と学校」が連携した学校経営に取り組んでまいります。

以下は、子供たちが答えた学校評価アンケートの結果からの抜粋です。

	A(あてはまる)	B(どちらかといえばあてはまる)	AとBの肯定的回答
学校へ行くのが楽しい	56%	36%	92%
毎日の授業がよく分かる	53%	41%	94%
進んで物事に取り組む	52%	40%	92%
自分にはよい所がある	47%	37%	84%
友達のよい所を見つける	65%	27%	92%
困ったり悩んだ時に先生に相談する	45%	29%	74%

AとBの合計をみると、高評価に見えます。しかし、「Aあてはまる」と答えている割合はまだまだ向上できると思います。表にはありませんが、評価を「C」や「D」と答えている児童もわずかです。少しでも子供たちが自信と笑顔をもって学校生活を送れるよう、今後も努力してまいります。令和7年度もよろしくお願いいたします。

卒業を前に…

3月11日(火)、6年生は学校内を美しくする「立つ鳥活動」に取り組みました。各学年の換気扇やサーキュレーター、手洗い場や体育器具庫など、これまで自分たちが関わってきた場所を感謝の気持ちを込めて美しく磨きあげました。



また、卒業式に自分と親がつける「コサージュ」を、講師の方に教えてもらいながら、親への感謝の思いを込めてつくりました。世界に一つだけのオリジナルコサージュを親子で胸につけます。6年生のみなさん、新たなステージに向かって胸を張って歩み出してください。